

気候変動対策に関する栃木県内大学生の意識調査結果

R4（2022）.7 気候変動対策課

- 1 調査概要
- 2 調査結果

1 調査概要

➤ 県による気候変動対策の取組の参考とするため、以下のとおりに調査を実施し、結果を取りまとめました。

調査対象	栃木県内の大学に在籍している大学生	
調査方法	無記名のアンケート調査（栃木県電子申請システムで実施）	
調査期間(29日間)	令和4(2022)年6月6日(月)～同年7月4日(月)	
調査項目(全7問)	選択式	気候変動による影響
		身近な温室効果ガス排出削減対策
		栃木県の取組
	記述式	優先すべき取組
		意見・アイデア
		意見交換の意向
	自由意見	
回答数	116人	

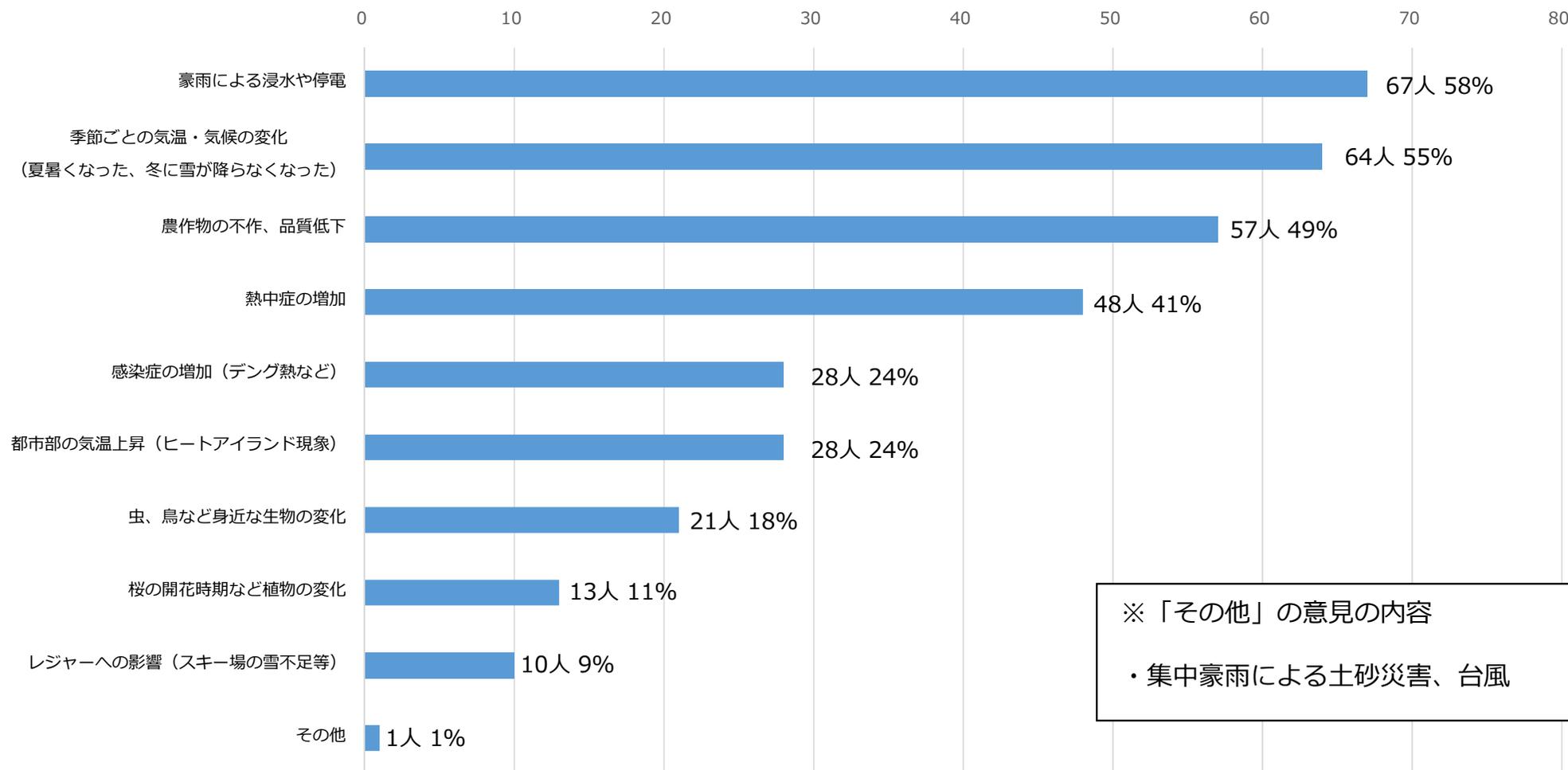


※ 周知方法：県のHP及びSNSで広報、各大学の講義棟・大学生協にチラシ設置、講義で講師から紹介 等

2 調査結果

① 「気候変動による影響」

近年、地球温暖化による気候変動の影響と思われる災害などが栃木県でも発生しています。このまま地球温暖化が進行すると、気候変動の影響は更に深刻化していくと予測されています。現在または将来のあなたの生活を考えたとき、特に心配な気候変動による影響は何ですか。該当するものを3つ回答してください。



② 「栃木県の取組」

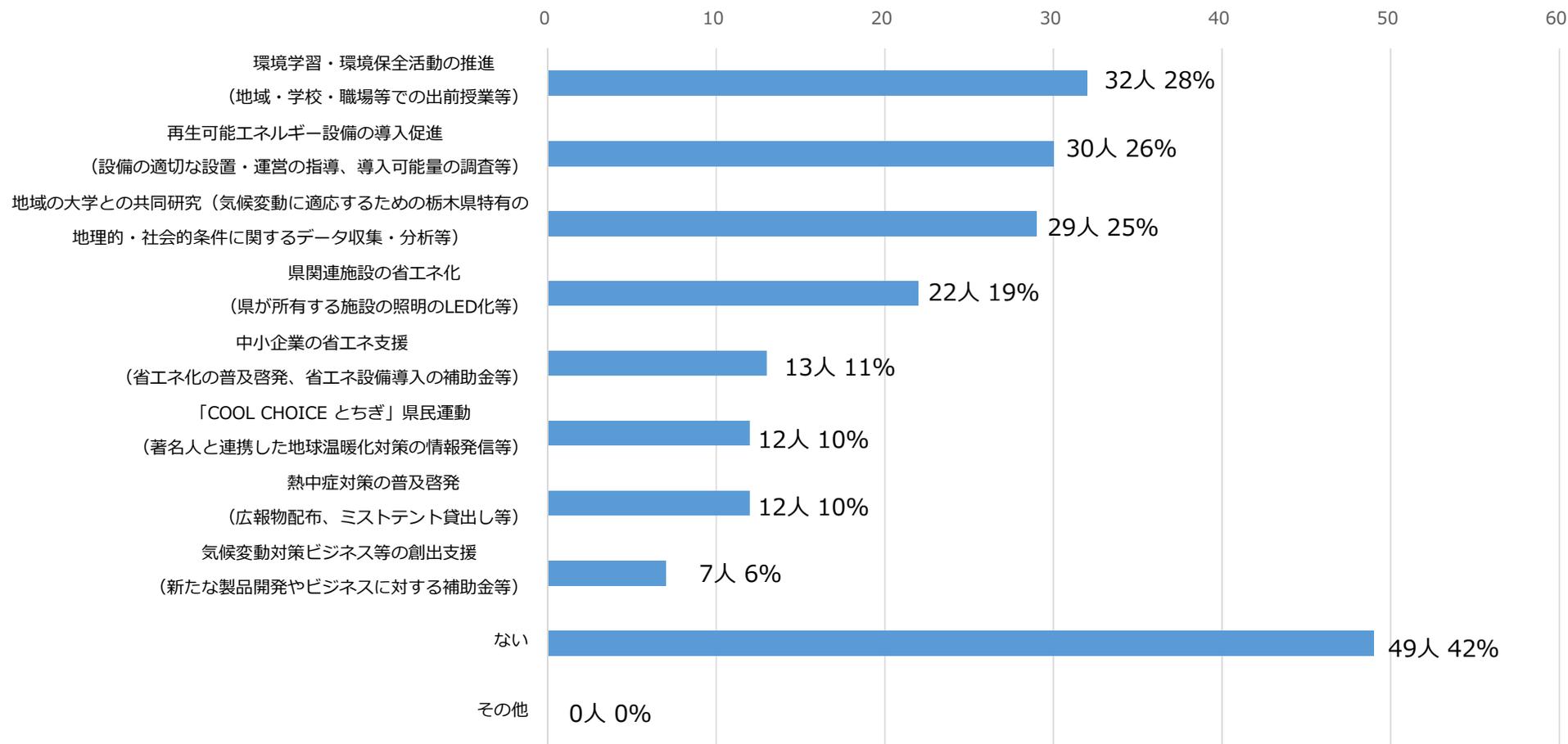
今後予想されている気候変動による影響（※1）を抑えるため、栃木県は「2030年までに温室効果ガス排出50%削減（2013年度比）、2050年までにカーボンニュートラル（※2）実現」を目指してロードマップを策定し、様々な対策に取り組んでいます。

栃木県の取組のうち、あなたが知っているものはありますか。ある場合は、知っているものをすべて選択してください。

ない場合は、「ない」を選択してください。

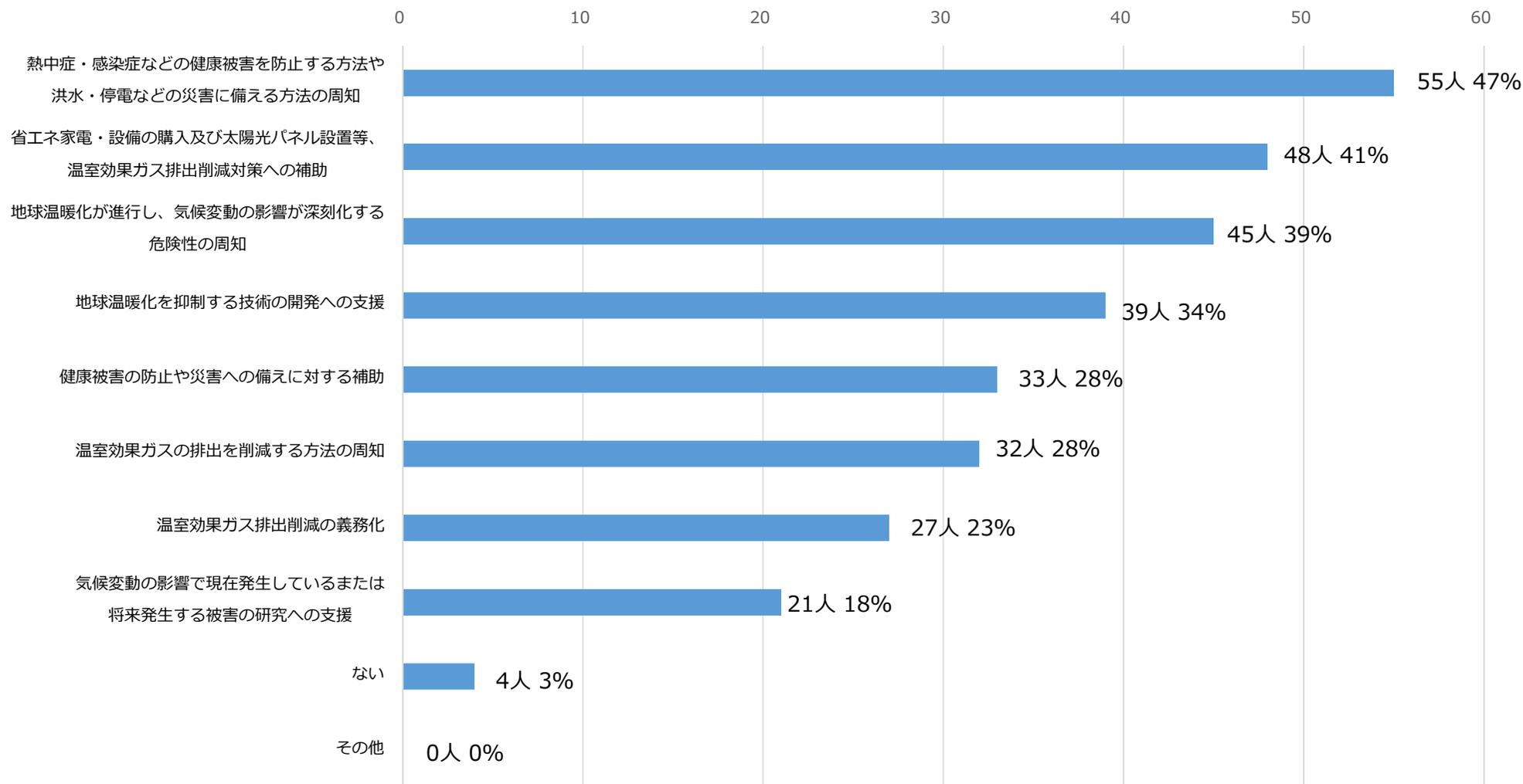
※1 将来の栃木県（有効な対策を講じない場合）年平均気温 15℃（2020年）→約17.5～18℃（21世紀末）、猛暑日 8日（2020年）→約1ヶ月（21世紀末） など

※2 カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスを大幅に減らすことで、温室効果ガスの排出量と森林などの温室効果ガスの吸収量をイコールにすることで温室効果ガス排出量を実質ゼロにする考え方。



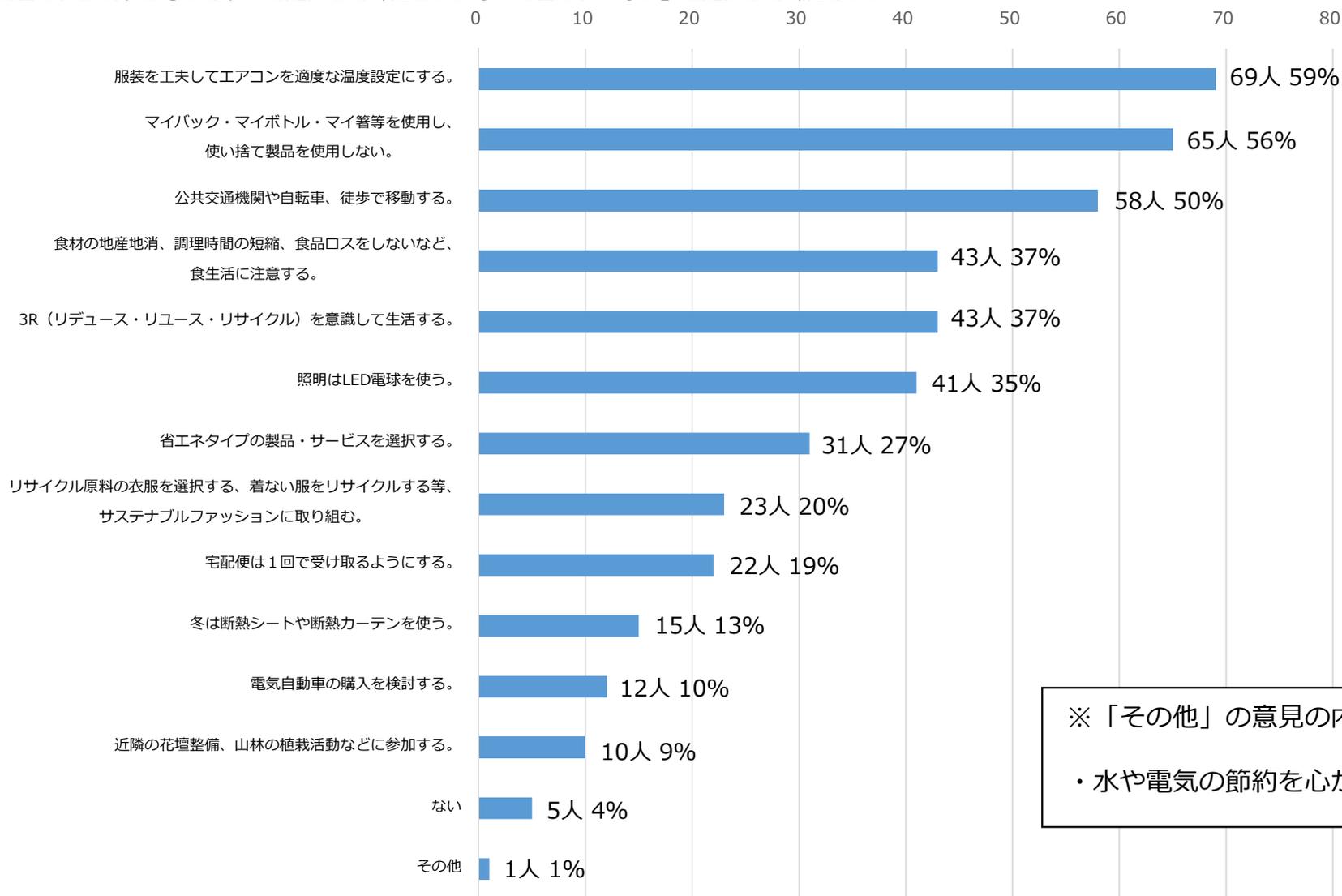
③ 「優先すべき取組」

地球温暖化に関する対策について、栃木県が優先して取り組むべきとあなたが考える分野は次のうちどれですか。
ある場合は、優先度が高いと考えるものを3つまで選択してください。ない場合は、「ない」を選択してください。



④ 「身近な温室効果ガス排出削減対策栃木県の取組」

身近な生活で実施できる温室効果ガス排出削減対策のうち、あなたが実践している、又は実践しようと思っている対策はありますか。ある場合は、該当するものをすべて選択してください。ない場合は、「ない」を選択してください。

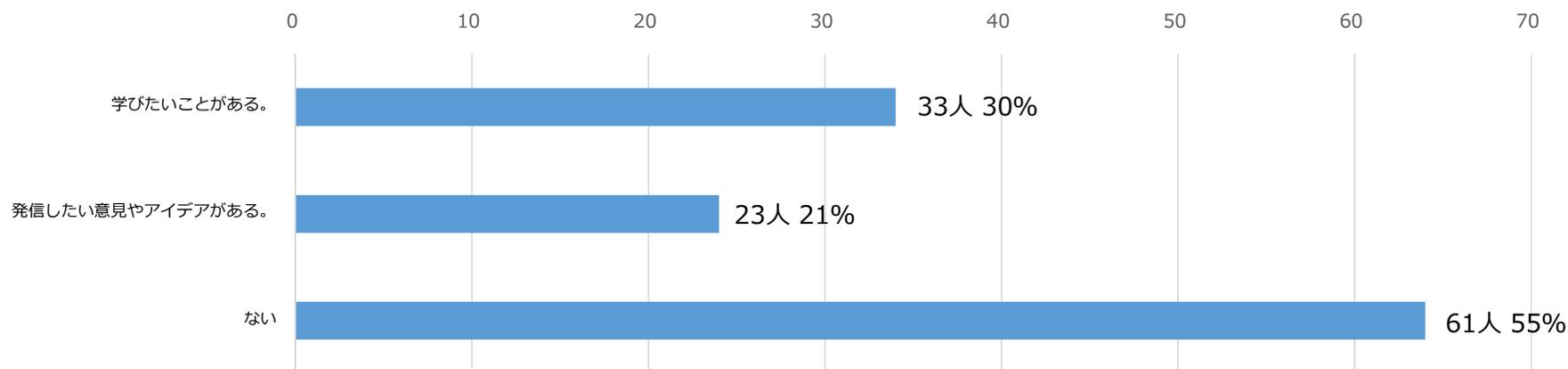


※「その他」の意見の内容

・水や電気の節約を心がけて生活する。

⑤ 「意見・アイデア」

地球温暖化を防止するため、あなたが発信したい意見やアイデアはありますか。または、学びたいことはありますか。ある場合は、その内容を教えてください。ない場合は、「ない」を選択してください。

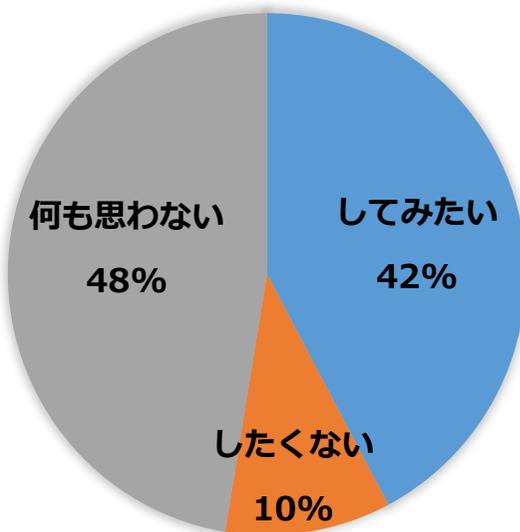


【回答者の記述内容（一部抜粋）】

- 「発信したい意見やアイデアがある」を選択した回答者の記述内容
 - ・寒暖差が激しいわりに課題解決の進みの遅い省エネの推進について、行政や企業と連携しながら施策を考えたい。
 - ・排出されるエネルギーをなるべく抑えるために、水や電気を節約する。
 - ・車の利用を減らせるように、バスの本数を増やしたり、LRTの敷設距離を増やしたりする。
 - ・駅など人々の目につくところに温暖化に関するポスターを掲示するなど、日ごろから認識してもらおう
 - ・今後起きる災害についての備えも大事だが、ことの重大さを知らない人がいてなんの対策もしない人が多いことが問題だと思う。
- 「学びたいことがある」を選択した回答者の記述内容
 - ・実際に企業や行政が行っている活動と、それらの活動の改善すべき点。
 - ・温室効果ガスを排出しないために、私たちが日常生活の中でできること。
 - ・持続可能な農業方法。気温が高くなっても変わらず収穫することができるのか。
 - ・再エネがまだ身近じゃないので、どう取り入れるか知りたい
 - ・どの様に伝えれば周囲の人々に環境問題の深刻さに気付いてもらえるか。

⑥ 「意見交換の意向」

地球温暖化や気候変動について、同世代と考え方やアイデアを共有したり、検討したりしてみたいと思いますか。理由を併せてお答えください。



【回答者の記述内容（一部抜粋）】

- 「してみたい」を選択した回答者の記述内容
 - ・自分一人ではなかなか行動や対策が思いつかないため、同世代の方々と意見を交換して新たな発見が得られるのではと思うから。
 - ・私たちの世代がこれから中心になるので同じ年代層がどのように環境問題を認識しているのか知りたい
 - ・意見を交換することで自分だけでは見ることのできなかつた視点に気づくことができると思うから。
 - ・当然のことであるが、これらの問題は社会全体で取り組むものであるから様々な意見を聞いてみたいと思ったため。
 - ・同じ大学や他の大学の方と共有することで気候変動に対する当事者意識が高まる
- 「したくない」を選択した回答者の記述内容
 - ・匿名のネット上なら良いが対面でするのは嫌だ
 - ・同世代の人たちと考えを共有すると似たような意見が多く、あまり有意義な議論ができないと感じる。専門的な研究をしている先輩方や専門家の方々のアイデアや考えは聞きたい。
 - ・意見を共有しても、何も変わらないと思うため。

⑦ 「自由意見」

問1～6で回答したもの以外で、地球温暖化・気候変動に関する全般的なことで意見やアイデアはありますか。ある場合は、その内容を合わせてお答えください。ない場合は、「ない」を選択してください。

【回答者の記述内容（一部抜粋）】

- ・個人的に、もう快適な生活を手放せないのので、どうにか発展と両立させる解決策を見つけたいと思う。
- ・自治体や企業の気候変動に対する取り組みを一気に知れる機会があると嬉しい。
- ・省エネ化の推進。再生可能エネルギーなどを取り入れることも重要だが、それだけではなく既存の電力消費量を減らす方法も考える必要がある。そのためには、省エネを取り入れることを推進することや、無駄な電力消費を無くすことを促すことも重要であると思う。
- ・再エネのポテンシャルをしっかりと調査した上で地域の特性にあった再エネを導入し、エネルギーの地産地消を目指してほしい。